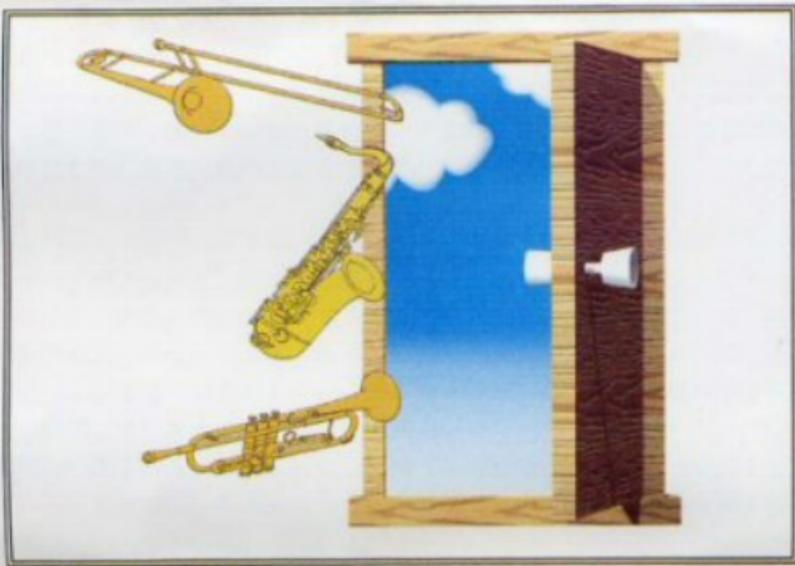


吹奏太郎



- ◆栃木県吹奏楽コンクール金賞受賞団体一覧
- ◆「指揮者と演奏者の皆さんへ」コンクール各審査員より
- ◆各支部だより(県内各支部広報部員より)
- ◆コンサートカレンダー 10月～12月

改めて「皆で創造する栃吹連」を

栃木県吹奏楽連盟理事長 手塚 豊

皆さんご協力のもと、7月下旬に宇都宮市文化会館を会場として行われた、第45回栃木県吹奏楽コンクールも盛会のうちに終了することができました。改めて心より感謝申し上げます。

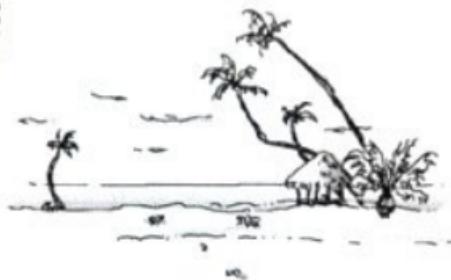
皆で創造する栃吹連は単なる合い言葉ではなく、連盟運営の柱であります。現職に在る人の集合体としての連盟は、これなくしては成立し得ないと思います。

先生方の中には5日間のコンクールの日程のうち4日間もご協力くださった方も居りました。係を分任してくださった先生方は、それぞれの部所で文字通り献身的に仕事を遂行され、眞の教育者の姿を見た思いがいたしました。前夜の仕込みは6時から9時まで、愚痴ひとつこぼすことなく黙々と働いてくれた高校生、大会終了後の後かたづけは8時から9時ごろまでに及びました。本当に頭の下がる想いで、帰路の安全を祈っておりました。

それにしても、一方では5日間の日程に全く顔を出さぬ先生の多さには驚いている次第です。自分の学校の出演日の関係は理解できますし、やむを得ないことだと思いますが、自分の学校の子どもたちの演奏のみがすべてと心得ていることを痛感させられました。

係の先生方も裏方の生徒も、皆、無給で働いているわけで「協働」とか「共同参画」などとは遠いどこかで行われているという感じがありました。これでは「皆で創造する栃吹連」が画餅に帰してしまうと思えてなりません。

家庭を持ち、職を持ち、忙しいのはご同様であり、コンクールの日時はかなり以前からわかっていることにして、要は皆で手を取り合ってという意識の有無が鍵を握っていると思われます。



仮にもそこに逃げの心理や人まかせの思いがあるとすると、それは子どもの成長にも、自分の学校の子どもたちの吹奏楽の質の向上にも、希薄で微少なものになって跳ね返ってくる筈であると思います。

栃吹連は間もなく創立50周年を迎えるとしています。一考、奮起を期待して苦い言葉を記しました。



「年々、栃木県のレベルが上がっているようだ。」と審査員や各方面の方々のお話をいただきました。今年も運営もしい懸念の続いた栃木県吹奏楽コンクールでした。

平成理事長が口頭のように言っている「コンクールは学習の場。そして、音楽、吹奏楽を通して心を育てる場。」の趣旨のように、コンクールを材料にして各団体とも充実した活動を開催していることがステージから伝わってきました。

《各部門の金賞受賞団体》 (★一県代表、() 一部加算得点)

(団体名)

(演奏曲目)

(指揮者)

○中学校C部門 (85校) (★=3点 県代表演奏会出場) -----

1部 7月23

★足利市立 北中学校

★今金町立 壬生中学校

★古宇都宮市立 鬼怒中学校

古小山市立 関ヶ原中学校

古小山市立 小山第三中学校

今福町立 愛宕中学校

西方町立 西方中学校

★古今市立 落合中学校

2部 7月24

古宇都宮市立 須川中学校

上河内町立 上河内中学校

二宵町立 久下田中学校

★合作新学院中等部

★古今市立 大沢中学校

古真岡市立 真岡中学校

古西那須野町立 西那須野中学校

古西那須野町立 三島中学校

★古小山市立 小山中学校

「朝鮮民族の主題に上る愛樂曲」(チャーンス) 町田三蘭子

「吹奏楽のための木挽き歌」(小山清四) 中野 亜子

「世界の天使」(ギラングヘルム) 佐藤 伸

「ルーマニア民族舞曲」(ブルトーラ) 鹿口 審子

「アイバンホー」(アーベルモント) 佐森真由美

「小組曲 1,2,3」(リード) 小沢 國

「マザーランドの恋歌」(チャックウェイ) 川田貴典

「恋空への挑戦」(スミス) 宇賀神 一

(7月25日、26日の審査員)

秋山 鶴吉 (あきやま つるきち・監修・最高)

遠藤 未来 (とんどうみくら・木管)

鷲田 勉一 (しゅうた べんいち・審査)

田中 賢 (たなか けん・作曲)

鷲井 忍 (しゅうい しのぶ・打楽器)

○小学校部門 7月27

(7校) -----

★ 今市市立 大庭小学校

「舞曲 第」(橋田 順之助) 里野 伸

★ 真岡市立 真岡小学校

「4人の切掛けとウインドアンサンブルのために」(柳原かほ) 佐本 忠史

★ 稲沢市立 栃木第三小学校

「スター オブ ドリーム」(スミス) 森尾 伸代

(★ 小学校の部・県代表 作新学院小学校 (最高))

○中学校・高等学校C・D部門 7月27 (中C3校 高C4校 高D3校)

東立 宇都宮北高校 C

「24の小品上り」(チャイコフスキイ) 関川 伸一

作新学院高校 D

「ダニタ」(オーブ・デ・ハーン) 石塚 武男

東立 石橋高校 D

「マリー・ヴィドウ セレクション」(レーベル) 関田 秀子

◎大学・一般部門

7/27	[大学 1. 一般 6] —————
★矢板ウインドオーケストラ	課題曲IV「歌劇アントレア・シェニエより第4幕」(ゾンガード) 黒尾 実
★小山市交響吹奏楽団	課題曲IV「アルプス交響曲より」(R.ショパン) 原 進
(★ 一般の部・県代表	宇都宮ウインドクルー (銀賞))
(★ 一般の部・県代表	宇都宮音楽集団 (銀賞))
(★ 太学の部・県代表	白鷗大学ウインドオーケストラ (銀賞))

[7月27日の審査員]

萩谷 克己 (はぎやかつみ: 金管)
日比 一宏 (ひびかずひろ: 打楽器)
角田 晃 (つのだあきら: 木管)
三浦 徹 (みうらとおる: 金管)
萩原 洋明 (くわはらひろあき: 作曲)

◎高等学校B部門

7/30 [31校] —————	
県立 茂木高校	「火焔-国宝〈火焔土器〉によせて」(高橋伸哉) 村松麻友子
★県立 真岡高校	「三つの即興的ジャズ風舞曲〈郷愁の往還〉」(おが/オガ) 岩原 篤男
★県立 烏山女子高校	「エル カミーノ レアル」(リード) 村田 明重
★県立 石橋高校	「ミス サイゴン」(ミス サイゴン) 栗田 芳子
★県立 宇都宮南高校	「メジャー・バーバラ」(ウルトン) 後藤 和子
★県立 矢板東高校	「シンフォニアハンガリカよりイシュトバン」(ロースト) 手塚 淳雄
★県立 足利南高校	「夢の里」(スミス) 田辺 龍夫

◎高等学校A部門

7/30 [6校] —————	
★県立 宇都宮中央女子高校	課題曲IV「ダフニスとクロエより」(ラベル) 新田 孝
★県立 宇都宮北高校	課題曲IV「シドゥス」(ドス) 菊川 祐一
★作新学院高校	課題曲IV「交響三章より 第3楽章」(三善 見) 三橋 英之

◎中学校A部門

7/31 [15校] —————	
宇都宮市立 宮の原中学校	課題曲IV「仮面幻想」(大栗裕) 生出 恵子
★益子町立 益子中学校	課題曲IV「(おほなみ) より」(天野正道) 石塚 正美
★宇都宮市立 陽西中学校	課題曲IV「バレエ音楽〈ガイース〉より」(ハセトウアン) 小堀 史子
★鹿沼市立 北大飼中学校	課題曲III「(ガリレオの月) よりエウロバ」(シシー) 井上 広子
★小山市立 桑中学校	課題曲IV「バレエ音楽〈ガイース〉より」(ハセトウアン) 堀川 裕美

[7月30日、31日の審査員]

伊藤 康英 (いとうやすひで: 作曲)
長谷川 博 (はせがわひろし: 木管)
高橋 美智子 (たかはしみちこ: 打楽器)
佛坂 咲千生 (ほとけざかさちお: 金管)
山岡 重信 (やまおかしげのぶ: 指揮・教育)



高等学校A部門 作新学院高等学校の演奏

指揮者と演奏者の皆さんへ

吹奏楽コンクール各審査員より

今年(7月)の橋本南吹奏楽コンクールでは、延べ15名の審査員の先生方に審査と講評をお願いしました。それぞれの先生方が課題の日本の音楽性を拓く音楽家であり、活動で演奏活動、吹奏楽の指導、音楽などに活動されていました。

そこで、審査員の各先生方に各部門ごとに感想や今後の課題などについて聞いてみました。良い部分は確認して審査をさせたり、改善点は早急に課題として取り組むなど。今後の演奏活動や次年度のコンクールに向けての読み合としてください。

◆7月25日・26日 中学校各部門

【演奏者(生徒)の皆さんへ】

- 全体のレベルの向上、安定に驚きます。上手なバンドは呼吸が重ずしつかうしています。
- 全体的にはレベルが上がってきていると思いますが、全般的なテンポングが遅く長いこと、音符に比較して本音のレベルが低いこと、全体に打楽器が大きすぎる傾向があることなどがとても気になりました。
- リズムに拍子感が感じられないかったり、音程の悪い学校が圧倒的に多いようです。
- 特に本音楽場について、プレスが強く支えがしつかりしていないため、これは音程が下がる傾向。Saxは逆に高音の音程がひどく上がってしまうのが気になりました。プレスをしつかりとり、直しいアンファッシュアで直すすぐ音でロングトーンをする必要を感じた。
- アレスが不安定であるために、音の立ち上がりが遅づけいのが目立ちました。

【指導者の皆さんへ】

- 指揮法の基本ができていない先生がとても多い。(「前回も他の前も見分けがつかない。」
「インサッフの出し方、打点が不明確。必要な以上にエモルギーを使ってしまう振り方。」)
指揮法の基本的な部分をマスターして欲しい。
- 通常に少し疑問を感じました。打楽器に振りすぎるものが多くかったです。打楽器でカバーするのではなくてメロディーラインそのものを生かした動作をして欲しいです。
- 本音(高い)、全音、バーカッショント(強すぎ)のバランスにもっと注意してください。
- 弱いコンサート手お出かけ者のような(女性の)握手を服装はつらいです。
- 高いハイヒールはやめて嬉しいです。(見ていてハラハラします。)
- 全ての学校ではありませんが、人振りが好きったように感じます。特に長いフレーズの人振りや静かな場面で人振りがあると、音頭が余裕タテ振りになってしまい、メロディーを“歌う”ことが難しくなると思いました。また、奥振子の部分なども同じく振りすぎによって曲線のつながりが無くなってしまうのが気になりました。
- コンクールというのは、先生が毎日生徒と、どう付き合っているかが一眼で分かってしまうほどステージに漏れるものです。いくらその場で先生が振り切ってもらはれてしまうのが悲しいですね。
- 視覚的な効果を圖ったとしか見えないような配置がいくつありました。配置は音響上の理由やアンサンブルしやすいように等の、構成上の理由を基本に考えるべきです。

【その他】

- 指揮法の講習会を定期で主催して聞くとよいでしょう。
- 裏方の先生や生徒の礼儀が良い。特に舞台手伝いの高校生がテキパキとして良かった。
- バーカッショント(強め)やTemp.は必要な以上にアレットを使っている学校が気になりました。また、皮は薄手ではないものが良いと思います。

〔演奏者の皆さんへ〕

◇小学校

- 表現力豊かな素晴らしい演奏でした。特に金管の奏法が柔らかく自然な感じで良かったと思います。中学校、高等学校へ進学しても是非楽器を続けていただきたいと思います。
- レベルが高く、また音楽的にも難しい(精神的側面)曲を、見事に演奏しています。打楽器の技術力の一層の充実を願っています。
- レベルが高いのに驚きました。どの楽器も同じだと思いますが、あまり無理をせず基礎的な奏法(特にタンギング)と良い音色、良い音程を心がけてください。

◇中高C.D

- 技術の習得の方に重きがあつて表現の部分が少し足りないように感じました。
- 音の出るのにまかせて吹くのではなく、音楽(曲)の意図によって、それを如何に料理するかの明確な意志を持ってください。
- 基本的なアンサンブル技術をマスターしてください。全体にサウンドが練れていないように感じました。出来る範囲で練習時間を多くしてください。
- 人数が少ないと和音の音が抜ける事がありますが、楽譜の書き替えを工夫してください。

◇大学・一般

- (一般)高度な技術と音楽的な表現による演奏だが、ホールの寸法(広さ、空間、響き)に合ったサイズで演奏して欲しいと感じました。
- 音量の持つ経済性を考慮して欲しい。音が出るといって吹きすぎると音楽性をそこなう。音量の効果のみに頼るのではなく、音楽の必然から出た強奏でないと音楽が空転する。
- (一般)上手ですが、大編成の強味と弱点をうまく調整して、より音楽的精度を高める必要があります。また、マーチの演奏にひと工夫欲しいと思いました。
- 大学の部のレベル向上を期待したい。

〔指揮者の皆さんへ〕

- 作曲者の意図する所を研究されて表現力豊かな演奏を心がけてください。
- 曲は、指揮者の理解力に応じてしか音楽は生まれません。その対応力に応じて諸問題(音程、分析力、他)は解決します。その意味で指揮者はマルチな知識と対処力が必要です。
- 小学校の先生たちの指導法、ご努力に敬意を表します。バンドの指導者は数多くの音楽経験を持つことが大切です。聞いた演奏の数、種類、知識、情報のすべてが指導者としての技量、音楽となります。
- (小学校)素晴らしい指導者に恵まれて、子どもたちは幸せだと感じました。コンクールの審査より現場での指導の方が大変と、いつも感じています。
- 指揮の表面的な形にとらわれずに、音楽と動きが一体となるように心がけてください。

〔その他〕

- 理事長先生のあいさつに感銘を受けました。
- C,D部門は金、銀、銅よりも2段階で(例えば優秀賞、奨励賞のように)、励ます事を中心にしてはいかがでしょうか。



◆ 7月30日 高等学校B部門・高等学校A部門

(演奏者(生徒)の皆さんへ)

○高等学校B

○B部門は県によっては時折全くやる気の無い演奏がありますが、極本場にはそれが見られず、それぞれのバンドなりに一生懸命やっているのが伝わってきました。

○音楽的な表現力に欠ける箇所が多いのが気になりました。

○全体的に良くなってきたと思いました。ただし、CBESTの時やフォルテのアクセントが多いときがあります。人数(部員)が多い学校は、人に説明してみてはー。

○高等学校A

○ホールがよく響くせいか全体に鳴らしやすいつのようです。音楽は音量ではないことを考え方でもらいたいものです。また、もう少し練習で自発を作り上げて欲しいと思いました。

(指揮者の皆さんへ)

○指導者がしっかりと曲譜の勉強をされているようで、好感を持てました。

○女性の指揮者のレベルが上がっている。以前は女性只有のシナの多い指揮が印象でしたが、必要な動きに絞った的確な指揮が多くなってきたのは大変に良い。また、女性指揮者の感情も豊富です。等が多く、良いと思う。色彩と音楽を大切に！

○自然な動きが多くなったと思います。一部に、動きがリズム化する、アクセントの有無が不明、感が落ち君かない、などの課題を感じられました。

(その他)

○プログラムの曲名、作曲者名に誤りが多いようです。これは各校の責任です。しっかりと確認の上提出する必要があります。

◆ 7月31日 中学校B部門 代表選考会、中学校A部門

(演奏者(生徒)の皆さんへ)

○中学校B 代表選考会

○高校に比べてより楽曲に音を出している個体が多いことは大変良い。

○良い演奏が多いが、間違って感動を覚える自発を作る個体がないことが気になる。

○選曲について注意して欲しい。今回、ギタングハムが多くあったが、その特質な自発をどこまで表現できるのか。

○中学校A

○フォルテの時のバランスやシンコペーションの感じなど、色々と工夫してください。

○一層の音楽的な表現を目指して見ましょう。この音楽で何を言いたいのかなど。

(指揮者の皆さんへ)

○楽譜を見てその中の音楽や作曲者の意図等を見通して具體的な自発にする力がもっと欲しい。指導の先生は、実際に良い指揮を多く見て勉強してください。

○指揮が未熟な先生が見受けられましたが、指揮の中に(テクニカの問題ではなく)、もうと向らかの自発を表現しようとする意欲が必要と思われました。

○本番の指揮のV丁度を振り、自分でチェックしてみてください。自分の知らない箇所を体が覺していないか? 不必要に腕が左右に動いていないか? 音楽の流れに合わない不自然な動きがないか?などを。また、手必要な大振りは、自発を出たくする原因です。

○子どもたちの熱量と理解の範囲の中での選曲をお願いいたします。



第16回 栃木県マーチングフェスティバル

第2回 栃木県小学校バンドフェスティバル

8/23 於 栃木県立県南体育館

昨年よりスタートした栃木県小学校バンドフェスティバルと 16 回となる栃木県マーチングフェスティバルが、8月23日(土)に県立県南体育館(小山市)で開催されました。それぞれの学校とも個性のある演奏、演技を披露し、会場からは盛大な拍手が送られていました。

尚、出場した下の6団体が栃木県代表として東関東大会に出場することになりました。

◆ 小学校バンドフェスティバル

金賞…宇都宮市立 富屋小学校
金賞…日光市立 日光小学校

〈演奏曲目〉

〈川の流れのように、他〉
〈よろこびの歌、他〉

〈指導者〉

岡本 真由美、他
倭文 小百合、他

◆ マーチングフェスティバル

〔フリースタイルの部〕

金賞…都賀町立 都賀中学校
金賞…作新学院高等学校

〈雷神、他〉

小澤 茜

〈ダコタ〉

石塚 武男

〔パレードコンテストの部〕

金賞…壬生町立 壬生中学校

〈行進曲「ハティックスアラグ」万歳、他〉 田中 修

〔フェスティバルの部〕

金賞…県立 小山城南高等学校 〈ブラジル、他〉

山本 伸子

《東関東吹奏楽コンクール・入賞記録》

(本県出場団体・プログラム順)

◆ 高等学校A部門

- | | |
|------------------|------|
| 1 作新学院高等学校 | 《銀賞》 |
| 17 県立宇都宮北高等学校 | 《銅賞》 |
| 23 県立宇都宮中央女子高等学校 | 《銅賞》 |

◆ 中学校A部門

- | | |
|---------------|------|
| 4 宇都宮市立陽西中学校 | 《銅賞》 |
| 12 益子町立益子中学校 | 《銅賞》 |
| 13 鹿沼市立北犬飼中学校 | 《銅賞》 |
| 24 小山市立桑中学校 | 《銅賞》 |

(他の部門は次号に掲載します。)



「夏の活動を終えて」

今市中学校吹奏楽部顧問 成瀬裕子
同 中山由美

「毎年、夏のプレゼントをありがとうございます。来年も楽しみにしています。」

・・・ 62歳 女性・・・

「ついこの間までランドセルを背負って通学していた孫が、先輩とともに一生懸命演奏している姿に涙がでました。今夜は楽しいひとときを過ごさせていただきました。」

・・・ 64歳 女性・・・

本校吹奏楽部では「サマーコンサート」と題しての定期演奏会を毎年8月上旬に（今年は8／9）開催しており、今年は26回目を迎えました。上にご紹介したのは、当日、聴いてくださった方々のアンケートの一文です。今年はちょうど台風にぶつかってしまい、聴きに来てくださる方が少ないのでないかと、とても心配しました。しかし、予想以上にたくさんの方に聴いていただくことができ、部員共々感謝の気持ちでいっぱいです。コンクールの曲を仕上げるだけでも大変なことなのに、8月のこの時期に演奏会を開くことは、正直、とてもハードです。しかし、たくさんの方々に支えられて私たちは活動できるのだということを実感できる、貴重な体験でもあるのです。今年は、部員43名のうち約半数の21名が1年生という構成でしたが、2、3年生のリードに1年生がよくついてきてくれました。

コンクールと「サマーコンサート」をやり終えたあとの生徒の顔は、満足感で輝いています。毎年、その表情を見るたびに私たち顧問は、すてきなプレゼントをもらっているなと思うのです。



今回は「コンクールを終えて」、「今後の活動予定」を報告してもらいました。

西那須野町立三島中学校

金賞をいただいた時は、たいへんうれしく思いました。代表選考会では、自分達が演奏することだけでなく、聴くことも非常に勉強になりました。

これからは、50人での「メリーウィドウ」。もう一度1からやり直し、わくわくするような演奏ができるよ張りたいです。顧問 矢板浩美先生

県立黒磯南高等学校

夏季休業に入り学校行事（補習・進学課外・宿泊学習等）が組まれ、3年生は進路関係（オープンキャンパス・ボランティアサマースクール・体験学習等）が入り、なかなか揃っての練習時間がとれません。

9月のコンサートに向け頑張っています。

部長 杉江真美子さん

県立大田原高等学校

部員一同が一丸となって練習したコンクールによって、バンドがさらに団結力を持った気がします。

また、今回の悔しい気持ちを決して忘れることなく、今後のアンサンブルや定期演奏会に取り組んでいきたいと思います。副部長 郡司正人さん

矢板市立矢板小学校

10月までは、芸術祭で演奏する「八木節」の練習が中心です。その後は、12月の予定されている校内演奏会に向けての練習が始まります。校内演奏会では学年ごとに曲を選び、学年発表をします。ポップスやアレンジものの楽しい曲を演奏します。

部長 岡部由美さん

矢板中央高等学校

大会の曲をもらって2ヶ月間、とてもいろいろなことがありました。初心者が多く、思うように練習が進まなかったり、みんなの気持ちがひとつにならざるに何回も話し合いをしたり、音程が合わずにとっても苦戦したりしました。大会当日、私たちは心をひとつにし、今までやってきたことを一生懸命に演奏しました。結果は目標にしていた金

賞は取れなかったけれど、みんな悔いのない演奏ができたみたいなので良かったです。いい思い出になりました。

大会が終わり、次の目標は全国大会出場です。今まで以上に工夫した練習と一致団結により、次こそは目標を達成できるように頑張っていきたいです。

そして、私たち3年生が引退となる文化祭も成功するように、一人一人が声をかけあい、感動してもらえる演奏をしたいと思います。残り少ない日々を充実させ、吹奏楽をやっていて良かったと思えるようにしたいです。

部長 杉田さやかさん

小川町立小川中学校

我が校は、コンクールに「参加することに意義があり」という感じで、少ない練習時間の中、コンクール当日にかけて練習に真剣に取り組んできました。

当日は多少の緊張はあったものの生徒達は「一生懸命演奏した。」という表情でした。結果はどうであろうと参加してよかったです。

顧問 山口智子先生

那須町立黒田原中学校

コンクールで、賞は取れなかったけれど、みんながひとつになることができて、とてもよかったです。現在は、これからある体育祭、秋の芸術祭、文化祭にむけて、今まで以上にひとつにまとまって頑張っています。

部長 平山恵莉香さん



ポップス講習会330名参加で盛り上がる！

8月29日（金）に、真岡市民会館にて文字通りポップスの奏法を学ぶ実技講習会が開かれました。本支部では初めての試みでしたが、講習会最後には講師の先生方と生徒達による合同演奏やアドリブ演奏をするなど大変盛り上がりました。

日程紹介

- | | |
|-------------|---|
| 10:00～ | 開会式 |
| 10:30～12:30 | セクション練習 |
| 13:30～14:30 | 中学校合同バンドによるレッスン
「鉄腕アトム」スwing奏法など |
| 14:30～15:30 | 高校合同バンドによるレッスン
「モンマルトルの小径」8ビート、16ビートなど |



講師の先生 紹介

金管	清水康弘先生 Tp
木管	佐藤洋樹先生 Tb
打楽器	宮本剣一先生 Sax
打击	染谷太郎先生 Drs
トランペッタ	桜井奈穂子先生

下都賀・栃木支部

異常なほど涼しかった今年の夏休み。一番暑かったのはコンクール当日だったでしょうか。今年、本校は初めてA部門に出場。大変だったのは事実でしたが、身についたことが大変多かったです。

さて、下都賀栃木支部では、夏休みに入っすぐ、小中高あわせて12校が参加し、恒例の吹奏楽フェスティバルを行いました。今年は藤尾先生、藤田先生、荻町先生をお招きし、ご指導いただきました。

ここ何年か、下都賀栃木支部ではどうしたら生徒に力がつくかを第一に考え、フェスティバルの運営方法に試行錯誤を重ねてきました。楽器別講習会の際にフェスティバルについての話し合いを行い、今までの反省を基に新しい方法を考えています。今年度は、藤尾先生、荻町先生にタクトを振りながらご指導いただき、バーカッションの位置等にもご配慮いただきました。生徒も両先生のご指導に躊躇することなく、積極的に演奏していました。両先生によるクリニックは各校20分程度でしたが、顧問の先生方は昼休み等を利用して、熱心に質問なさっていました。

このフェスティバルは、下都賀栃木支部の顧問の先生方が力をあわせて取り組んでいる数少ない事業です。コンクールを前にしてお互いに研鑽を積む良い機会になっています。今後とも生徒にとどても、指導者側にとどても有意義な時間となるよう、積極的に取組んでいこうと考えています。

小山市立間々田中学校

間々田中学校吹奏楽部は顧問の森口裕子先生、鈴木史隆先生のご指導のもと43名の部員で活動しています。私たちは常に「誰もが感動できる演奏、心の和=音の和」ということを目標に掲げ、練習に励んできました。

時には、外で運動部が練習している傍ら、ひたすらロングトーンをし続けたことや、皆それそれに空き教室に籠もり楽譜とにらめっこしたこともありました。自分たちが一から企画した演奏会が成功した時には、部全体がより一層団結できたように思います。講師の原先生の力も借りながら私たちは技術・人間性ともに成長することができました。そして迎えたコンクールでは念願の金賞受賞!! 最高の仲間たちと今まで頑張ってこれたことに改めて感謝した瞬間でした。

そんな私たちは今も発展途上にあります。3年生の引退後は後輩の手でより素晴らしい部へ成長していくってほしいと思います。

(部長 青木 智美)

栃木県立小山高等学校 「コンクールと甲子園と」

私たちの今年の活動はとても有意義なものでした。四月に、創部以来親しまれていた伝統のある「プラスバンド部」という名称を「吹奏楽部」に改名しました。それと同時に部員がかなり増えたので、コンクールに参加することになりました。前回出たのがいつのつか分からぬくらい久しぶりなのです。初心者が多いということもあり、一から教えるのは大変なことでしたが、さらに大変だったのは、総仕上げをしなければならない七月後半に野球の応援が重なってしまったことです。部員の疲労はたまる一方で涙が出そうな時もありましたが、野球部は甲子園出場を決め、私たちはコンクールで精一杯演奏することができました。そして、大汗をかきながら練習した甲斐あって、甲子園でも部員一丸となって元気よく応援し、ハブニング続出も今となってはよい思い出です。

ここまで頑張ってこられたのはたくさんの方々の支えがあったおかげです。お世話になった皆さん本当にありがとうございました。

(部長 吉橋 由理)

安蘇・佐野支部

芸術の秋。各学校とも音楽祭や文化祭に向けて練習に熱が入る時期を迎えていくことだと思います。

6月28日(土)には、葛生高等学校を会場にして、木管楽器の講習会を行いました。尚美学園大学の管楽器専攻生を講師にお迎えし、小学生を中心に60名が参加しました。フルート、クラリネット、サックスのクラスに分かれて、楽器の持ち方から構え方など基本から細かく教えていただきました。どの楽器もやさしく丁寧に教えていただいて、子どもたちにとってはそれぞれの演奏技術や意欲の向上につながり、有意義な一日であったと思います。

◇参加者の声◇

- ・毎日の基本的な練習が大切だと思いました。
 - ・優しく教えていただいてうれしかったです。
 - ・先生の演奏を聞いて、感動しました。これからもがんばりたいです。
- 「音楽が好き」な子どもを育てるには、「音楽の楽しさ」を味わわせるとともに、「基本」を身につけさせることが大切だなあと、指導者として改めて感じた一日でした。



星羽支部

2学期が残り、様々なイベントで吹奏楽部の活躍が多くなる季節がやってきました。各校の「音楽の秋」は、どのような活動になるのでしょうか？市内の中学校2校の部長さんに聞いてみました。

♪ 私たち星羽中吹奏楽部は、今、学校音楽祭やTBSコンサートに向けて毎日みんなでがんばっています。中央祭や、TBS東日本優秀演奏会に出場できるように、これからもっと気合を入れて練習に取り組んでいきたいです。去年は東日本大会に出場できたので、絶対今年も行きたいです。そしてみんなでまた一つ思い出を作っていくたいです。 （星羽中 3年 春山 愛乃さん）

♪ 今年の秋は、文化祭をはじめいろいろな大会があり、例年に比べて吹奏楽部の活躍の範囲の幅が多くなっています。3年生も、11月まで現役部員でがんばります。まさに、「音楽の秋」といったところでしょうか。そこで、私たちもこれを機会に、「様々な音楽に出会っていこう」と考えていました。そして、音楽をより楽しいものにしていきたいです。 （星羽北中 3年 清水 離太郎くん）

宇都宮・河内支部

10月初めに行われる『うつのみやジュニア芸術祭』と福西中学校の定期演奏会のお知らせをします。

題名：うつのみやジュニア芸術祭 学校音楽祭

開催：平成15年10月20日（金）小学校会場・会場

10月4日（土）中学校会場・会場

場所：宇都宮市文化会館 大ホール

みなさんはここにちは、私たち福西中学校吹奏楽部は2人で毎日楽しく練習しています。今年のメンバーは特に活発で、時にははしゃぎすぎてしまうことがありますが、とても明るいです。そんな私たちが10月27日に福本高等学校で定期演奏会を行います。いろんな種類の曲をやりますので、よかったです来てください。楽しい演奏をお送りいたします。 （宇都宮市立福西中学校吹奏楽部 部長 井上 美香）

日	曜	場所	備考
3	金	第5回うつのみやジュニア芸術祭 学校音楽祭 宇都宮市文化会館大ホール 10:30 無料【小学校合唱・合奏 10月4日(土)中学校】	
5	日	東関東マーチングフェスティバル	独立運営団体
7	火	足利地区学校音楽祭 足利市民文化会館ホール 9:30 無料 [足利市内の小・中・高校生による合唱、合奏の発表]	
		全日本吹奏楽コンクール 宇都宮市文化会館 10月(土) (大学) 11月(日) (職場・一般)	
23	水	栃木県学校音楽祭中央祭	宇都宮市文化会館大ホール [中学校合唱]
25	金	栃木県警察音楽隊定期演奏会	栃木市文化センターメインホール 10:30 無料 [問い合わせ 栃木県警察音楽隊 028-621-0110(内線) 2176-1]

2003年 11月

9	日	宇都宮商業高等学校吹奏楽部第39回定期演奏会 栃木市文化センターさくらホール 14:00 無料 [問い合わせ 宇都宮動画局 028-622-04888]
24	月	安蘇・佐野支部スクールバンドフェスティバル 高生町あぐとプラザ 10:30 無料 [アメリカン・ジャニー、他の場所に、既]
26	水	姿川第一小学校吹奏楽部「ドリーム・コンサート」 宇都宮市文化会館大ホール 10:30 無料 「小学生でもこんなに楽しむ演奏ができるんだ！」という趣意合です。】
30	日	全日本アンサンブルコンテスト3年連続金賞受賞記念 ユーフォニアムチューバンサンブル F-Clef 第2回定期演奏会 栃木市文化センターさくらホール 17:30 800円 [当日 200円増] [問い合わせ F-Clef会場 028-625-8040]

2003年 12月

29	日	第37回矢板ウィンドオーケストラ定期演奏会 矢板市文化会館大ホール 10:00 1,000円
栃木県アンサンブルコンテスト		
	29日(土)	栃木市文化会館 中学校1部
	30日(日)	栃木市文化会館 中学校2部
	31日(火)	黒磯市文化会館 小学校・高等学校・大学・一般